

もうちょっと知りたい！

い も じ

## 鑄物師

(初級編)

鑄物師とは金属工芸品を制作する専門の職人ですが、中世以降彼らの多くは集団に組織されました。特に、北条<sup>ほうじょうし</sup>氏と結びついた物部<sup>もののべい</sup>鑄物師や、鎌倉大仏の鑄造<sup>ちゅうぞう</sup>に関わった相州<sup>そうしゅうい</sup>鑄物師などが有名です。一方、全国各地で在地の鑄物師集団がそれぞれ活躍していました。その中の一集団が、今回展示している雲版に名が見える小用<sup>こようい</sup>鑄物師です。彼らは越生郷<sup>おごせごう</sup>を拠点としていたとされますが、もともとは信濃国<sup>しなののくに</sup>（長野県）出身の一族であったと言われていています。彼らの名の残る作例は関東甲信越に数例確認されており、その幅広い活躍がうかがえます。